

<b>アリマルア・オリフルア・トートリルア・ピーチフルア剤 コンフューザー AA</b>	<b>取扱メーカー：</b> サンケイ、信越化学  <b>原体メーカー：</b> 信越化学
<b>成分：</b> (Z)-10-テトラデセンル＝アセタート……………28.0% (E,Z)-4,10-テトラデカジエニル＝アセタート……………12.2% (Z)-8-ドデセンル＝アセタート……………5.4% (Z)-11-テトラデセンル＝アセタート……………19.9% (Z)-9-テトラデセンル＝アセタート……………3.9% 10-メチル-ドデシル＝アセタート……………0.50% (Z)-9-ドデセンル＝アセタート……………1.0% 11-ドデセンル＝アセタート……………0.60% (Z)-11-テトラデセン-1-オール……………0.24% (Z)-13-イコセン-10-オン……………18.1%	<b>性状：</b> 淡黄色澄明油状液体（ポリエチレン細管に封入）  <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> 第4類・第3石油類（非水溶性）・危険等級Ⅲ

## 【品目特性】……………

●性フェロモンの特異的作用によって対象害虫の交尾を連続的に阻害し、害虫の発生を抑制することを目的としている。

●本剤は対象害虫のみに作用し、他の害虫には作用を及ぼさない。

●殺虫剤に抵抗性を獲得した害虫にも有効である。

●天敵に対する影響は非常に少なく、人畜毒性がほとんど見られない。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

●有効成分を徐放性の容器（ディスペンサー）に封入してあるので、その効果は長期間に渡り持続する。

●対象害虫の殺虫剤を削減できるだけでなく、天敵に対して、影響の少ない殺虫剤と組み合わせた防除体系により、天敵を保護し対象外害虫の発生を抑制する副次的効果が期待できる。

## 【使用上のポイント】……………

●設置時期は越冬世代成虫発生初期に設置する。

●通常の場合、10 a 当り120～150本とし、圃場の立地条件（傾斜）、周囲の状況や風向き等を考慮にいれて、8割程度を圃場全体にほぼ均等に

設置する。残りの2割程度を圃場の周辺部に処理すると効果的である。

●目通りの高さ（約150cm程度）になるべく圃場全体が均等になるように取り付ける。但し、樹高が不均一の場合はなるべく高い位置に設置する。

●設置面積は3ha以上のまとまった圃場で行うと効果的。3ha以下の設置面積の場合は周辺に多く設置するなど留意する。

●圃場周辺に無防除園や無防除樹があるか注意する。ある場合はあらかじめ防除を徹底する。また周辺に無防除のバラ科果樹等がある場合には、フェロモン剤を設置する。

## 【薬効・薬害等の注意】……………

●本剤は対象害虫の交尾を阻害し、幼虫の発生密度低下を目的とした交信攪乱剤であるので、成虫の発生初期からできるだけ大面積で一斉に使用する。

●対象害虫が高密度に存在する場合は、状況に応じて天敵に影響の少ない薬剤と併用する。

●急傾斜地、風の強い地域等、本剤の有効成分濃度を維持することが困難な地域では、効果が安定しないので、設置は見合わせる。

●外装のアルミ箔袋を開封したまま放置すると、有効成分が揮散するので、密封したまま冷暗所に（5℃以下）に保管し、使用直前に開封し使いきる。

## 【適用と使用法】……………

作物名	使用目的	適用害虫名	10 a 当り使用量	使用時期	使用方法
果樹類	交尾阻害	キンモンホソガ ナシヒメシンクイ リンゴコカクモンハマキ リンゴモンハマキ モモシンクイガ ミダレカクモンハマキ	120本～150本 (52g/100本製剤)	成虫発生初期から終期	ディスペンサーを対象作物の枝に挟み込み、又は巻き付け設置する。